

⑯ 日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

② 公開実用新案公報 (U)

昭58-79728

③Int. Cl.³

G 03 B 17/56
G 02 B 7/02
G 03 B 11/00

識別記号

府内整理番号
6920-2H
6418-2H
7811-2H

④公開 昭和58年(1983)5月30日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑤カメラにおけるレンズ防具

⑥実 願 昭56-173315

⑦出 願 昭56(1981)11月24日

⑧考案者 内田竹男

東京都目黒区平町2-10-4

⑨出願人 内田竹男

東京都目黒区平町2-10-4

⑩実用新案登録請求の範囲

- (1) カメラボディAより突設されたレンズ鏡洞Bの周囲に、帽冠状に嵌挿させる中空部を形成し少なくとも一端に挿入開口1を形成した筒状のカバー部2を備え、このカバー部2にカメラボディAに絡巻き保持しうる帯状のバンド3を設けたことを特徴とするカメラにおけるレンズ防具。
- (2) 前記カバー部2が、透明のプラスチックスから成るものである実用新案登録請求の範囲第1項記載のカメラレンズ防具。
- (3) 前記カバー部2が、その一部に可視窓或いは透明部を形成したものである実用新案登録請求の範囲第1項記載のカメラレンズ防具。
- (4) 前記カバー部2が、その端面を開口しているものであつて、その開口部に着脱自在のキヤップ5を備えているものである実用新案登録請求の範囲第2項又は第3項記載のカメラレンズ防具。
- (5) 前記カバー部2が、前記バンド3を係脱自在に備えているものである実用新案登録請求の範囲第2項乃至第4項のいずれか一つの項記載のカメラレンズ防具。
- (6) 前記バンド3が、伸縮自在の帯状のリング部材から成るものである実用新案登録請求の範囲第2項乃至第5項のいずれか一つの項記載のカメラレンズ防具。

(7) 前記バンド3が、一对分離状態で前記カバー部2に備えられているものである実用新案登録請求の範囲第2項乃至第5項のいずれか一つの項記載のカメラレンズ防具。

(8) 前記バンド3が、係止部材4を含む接続部を持つており、バンド3、3相互の連繋を接離可能な構成したものである実用新案登録請求の範囲第7項記載のカメラレンズ防具。

(9) 前記バンド3が、前記カバー部2の一端縁より一体に連続形成されている帯状体であつて、該帯状体の接続位置が可変調節できる構成となつているものである実用新案登録請求の範囲第7項又は第8項記載のカメラレンズ防具。

(10) 前記バンド3が、係止部材4を持つているものであつて、該係止部材4を係支テープで形成したものである実用新案登録請求の範囲第8項又は第9項記載のカメラレンズ防具。

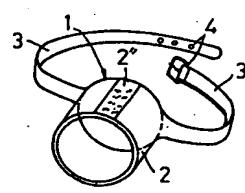
図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示し、第1図はその斜視図、第2図は使用状態を示す斜視図、第3図及び第4図は別の実施例で、第3図は斜視図、第4図は使用状態を示す斜視図、第5図及び第6図はさらに別の実施例で、第5図は斜視図、第6図は使用状態を示す斜視図である。

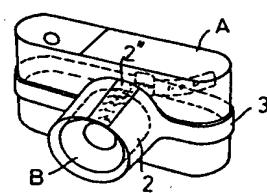
A…カメラボディ、B…レンズ鏡洞、1…挿入開口、2…カバー部、3…バンド、4…係止部材、5…キヤップ。

実開昭58-79728(2)

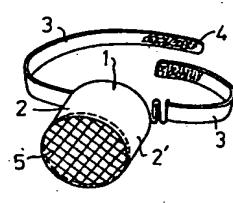
第1図



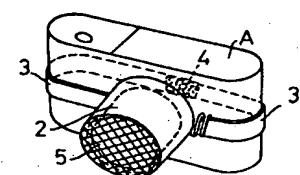
第2図



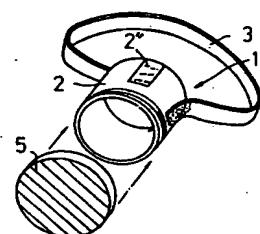
第3図



第4図



第5図



第6図

